追込みに激闘する

当落線上の推薦候補

二十二日の投票日を控え、各候補は必死の追込みを終盤戦に展開している。

【福岡三区】五つの金的をねらって九候補がしのぎをけづって闘っている。社会党は今回、田中稔男稗田療太郎、稲富稜人の三氏を立て地盤協定を行い強力な選挙戦を展開している。

一方自民党は副総理石井光次郎、元国務相橋本龍伍、元内相山崎巌、荒木万寿夫の四氏を立て、社会党と対決をはかっている。

会社経営者は前回造船汚職のためきびしい批判をうけて落選した荒木候補一本に絞り強力な支持を行っている模様である。

これは明年行われる地方選挙、市長選挙の試金石として会社が全力を挙げているのはいうまでもないことで、今次衆議院選挙に勝つことが今後の組織を守り来年行われる地方選挙に革新陣営を過半数送ることへ通ずる道として、大地評を中心に組織労働者の結集を図っている。

無所属の佐藤守男、共産党の大淵正気候補はどれだけ票をとるかの問題で社会・自民党の争いとみられている。

× ×

【熊本一区】五つの金的を十一名で争う乱戦地。社会党からは坂本泰良、松前重義の二氏が立候補、自民党は大久保、石坂、松野、寺本、藤田と定員一杯の前・元の議員連が出馬。これに大麻（唯男氏の実兄）、櫛山、湯川の無所属候補と共産党西里候補が出馬している。故大麻唯男氏の票に保守乱立で喰込みを展開している。

坂本候補

前田療太郎候補

十三日中央委員会終了後、熊本県一区の推薦候補坂本泰良氏に選挙戦がいかに展開されているかその談話を聞くため、組合長の代理として平島編集部長が、阿蘇の内牧へ急遽派遣され乱戦の熊本一区の表情を語ってもらった。

× ×

問　夜分ご迷惑ですが、組合員や主婦会の皆さんが「坂本候補は大丈夫ですか」ということを聞かれるので、組合長が参る筈でしたが中央委員会でいろいろ要望があっており、支部長会議や戦術委員会を開かねばなりませんので、代理で参りました。

答　それはご苦労でした。おかげで私も元気ですから組合の皆さんや宮川組合長によろしく……

問　早速ですが、こんどは熊本県一区の保守派は「坂本を何が何んでも落せ」といっているそうですね。

答　保守の地盤の強いところで私が嘲たいのでしょう。

問　酒井県議から聞いたのですが坂本先生が決算委員長として、ビシビシ汚職追求や労働組合の発展のため努力されていることが非常に怖がっていると聞いていますが

答　労働者から推された私が労働者のためつくすこと、法を正しく守る弁護士がそのようなクサレた政治をやる者を追求するのは当り前ですよ。どんなに保守派の人たちが私に挑戦して来てもこれをはねかえして闘いますよ。

問　こんど坂本先生の選挙にのぞむ方針というか戦法をさしつかえがなかったら話していただきたいのですが……

答　別に新しい戦法というのはないが社会党政権樹立前の問題としてこの熊本一区により多くの社会党支持者をつくるため前回の票に三割のプラス票を獲得したいと思っています。

問　これも酒井県議から聞いたのですが阿蘇地方の農村の人たちが「坂本を出せ」という声があるそうですね。

答　多分「官公農林」のことでしょう。これはボス追放に私が一役買ったのでその部落全部が私を推すと決めてくださったようです。

保守派の挑戦に抗す

汚職追放で頑張る坂本候補

組合対会社の闘い

農村へ喰込む田中候補

十二日主婦会の総会に日やけした顔で来賓として挨拶した田中稔男候補に終盤戦の模様を宮川組合長より聞いてもらった。

× ×

問　毎日大変ですね。今日はみんなが推薦候補はどうだ大丈夫かという質問があったのでいろいろお尋ねしたいと思いますがよろしいですか。

答　大変お世話になっています。組合員の方々が私が挨拶に廻っていると手を振ったり、激励していただくので非常に元気が出ます。全くみなさんの好意に感謝しています。

問　大分色も黒くなられたが大体三区全体は廻られたわけですか

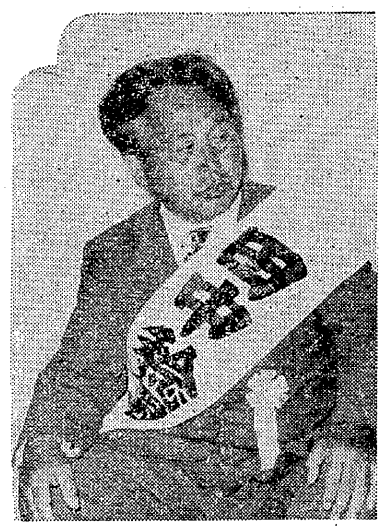
答　今回は社会党から三名出ているので決して楽な闘いではありません。しかし社会党の人気が上げ潮に乗っているので一応名前の通っている私が農村関係の散票をいただくため、地元大牟田、高田村も大切ですが郡部を廻っていますからほとんどしらみつぶしに廻りました。

問　われわれとしては社会党の三名の人が是非当選していただきたいと思っていますが、仲々大変で本当に苦戦ですね。

答　いまのところ当落すれすれというところですが終盤戦に精力的な追込みをやります。何しろ荒木さんに対しても会社が相当力を入れているようで、田中対荒木ということは労働組合対会社の闘いだと思っています。

問　こんどは荒木候補や櫛橋候補など必死だと聞いていますね

答　何しろ東京一区につぐ大激戦地でこれまで現役の誰かが貧乏くじを引いているのでみんなそれは必死ですよ。保守党の人が今度落選したら政治生命を失うことになるので、真剣ですよ私も、みなさんの支持をうけ是非当選するよう頑張り抜きます



初陣の苦しさを知る

保守票に喰込む稗田候補

十三日中央委員会に挨拶に来た稗田療太郎推薦候補に新人として革新陣営の期待をうけて闘っている現況を宮川組合長より聞いてもらった。

× ×

問　大分黒くなられましたね。お元気ですか。

答　身体は満洲で鍛えているので至って元気です。こんどみなさんの暖い心で立候補させていただき、初陣の苦しさを身をもって感じています。

問　一番激しい福岡県三区で新人としての出馬は本当に大変ですね

答　私も社会主義社会の建設という輝かしい事業に参加させていただいたことを心から感謝し、どんなに苦しかろうとも頑張って革新勢力の票を一票でも二票でも伸しみなさんと共に社会主義社会の建設のため全身全霊を打ちこんで頑張ります。

問　私の方では機関の決定で大牟田、高田村以外で支援することになっていますが、大いに稗田さんの持味でこれまで保守に流れていた票に喰込んでいただきたいと思います。

答　私も炭労はじめ医師会、日政連の推薦をうけ、その期待にそうように努力しています。

問　いま若い人や保守派の革新的気持をもっている人達は自民党にあきたらず、新人に期待しているということをよく聞きますが、その点稗田さん当りはダークホース的存在ではないでしょうか。

答　いまの自民党の政治は自己本位です。これでは国民より当然離れて行きます。私も二百十余人いる学術会員からただ一人社会党の政策をかかげて、新人として出馬させていただいています。私は広く勤労大衆の最大幸福のため努力することを誇って都市や農村で訴えています。全く不利な闘いではあるが必ず理解していただくと思い頑張っています。

『紫のフクサ』

国会ルポ

参議院議員　社会労働委員長　阿具根　登

解散の時機を再三に亘って見逃した岸内閣は、激しい世論に抗し切れず、遂に社会党に泣きついた形で四月十八日、両党首の会談を申入れてきた。

そして「のたれ死内閣」とまでのしられながらも「話合い解散」の新例を開くに至ったが、その解散の日四月二十五日は参議院において与、野党攻防戦のヤマ場であった。

もめにもめ続けた労働協会法の審議は、遂に自民党の横暴極まる暴挙に食いつかれ、委員長の中間報告を本会議に求めて強行採決をやってしまった。

去る二十四国会は乱闘国会と嘲がれたが、その時でもやらなかったような、文字通り徹夜の開の国会を強引にやってのけた。

午前二時半から社労委員長の中間報告が始まり、質問、反対討論、加えて四つて動議があって、午前五時半に漸時休憩となったのであるが、労働者と社会党の必至の反対を振りつぶして、憂うべき反動立法を成立してしまったのである。さらに午後に至って、本国会最大の重要法案自衛隊一万名増員の防衛二法案も通過し、のこるはただ衆議院における社会党の不信認案上提を待つばかりとなった。

いよいよ夕方の五時、衆議院の本会議開催が近づいてきた。

岸内閣を信任せず

開会十五分まえ三階の衆議院議員傍聴席にはいった私は、まず傍聴人の多いのに驚ろかざるを得なかった。一般席は勿論、参議院議員席、外国人、公務員、新聞記者席等々のすべてが、こぼれんばかりの超満員である。見下す議場はまだ人一人なく、嵐の前の静けさに似て、殊の外しんみりとした感じだ。

きゅうきゅう押されながら待つこと十五分、議場の時計が定刻五時を指したとき、今まで閉鎖されていた四方の扉が一斉に開かれ、さっと衛士が現れて一礼し、扉の傍に立ったと見る間にどかどかと「つわもの」？たちの姿が現れ出した。

五時五分、益谷議長が議長席に着席し、岸総理他各大臣もヒナ壇に並んだ。議場ではあちらこちらで握手を交し、肩をたたき合う風景が見られる「さあ解散だ、お互いに頑張ろうぞ」「永田町で逢いましょう」と励まし合っているのだろう。一人一人の議員の顔色も心なしか緊張しているように見受けられる。さもあろう、四百六十七の議席に変更はないけれども、選挙のたびに三分の一位の移動が常であることを思えば、再び赤いじゅうたんに身をゆだねるのは果して離れと離れであろうか……。

五時十分、甲高い議長の声で開会が宣せられた。そして社会党の拍手に送られて登壇した河上丈太郎議員は「本院は岸内閣を信認せず、右決議する」に始まった主旨説明の演説は、静かに、そして重厚に響いていった。

まず社会党席からわれるような拍手が規律正しくおこった。

不信認の第一の理由は、岸内閣が国民の信託を受けていない点をあげ、また岸総理は大東亜戦争の最高責任者の一人であるとキメつけた頃より、自民党席のヤジは激しさを加えてきた。

外交問題、経済、労働、文教と寸鉄胸を刺す流麗な弁舌も、拍手とヤジでしばしば聞きとれない程である。

やはりみんな相当に昂奮している。十分、二十分と演説が進むにつれて議場の右側の三分の一位は白く拍手の律動が美しい。ヤジと拍手、拍手とヤジが錯綜して演壇のすぐ下にいる速記者さえイヤホーンをつけながらペンを走らせているほどである。

一際高くそして長く社会党の拍手がおこった時、約三十分間に亘る不信認案上提の演説は終りを告げた。

議長ふるえて解散詔書読む

続いて自民党の三木政調会長が不信認案の反対討論に立った。今度は拍手とヤジが所を替えて、左側約三分の二が拍手となり、社会党がヤジの立場に変った。

輝く大型ライトに照らされた議場は真昼のように明るい、そして超満員の人いきれを加えて汗のにじむ暖たかさになってしまった。ちらりほらりと扇のひらめきさえ傍聴席には見受けられた。三分の二の自民党席の拍手はいよいよ議場を圧するかと思われたが、ヤジもまた負けてはいなかった。

最後列近くに席を持つ浅沼書記長も真赤な顔をして例のドラ声を発しているのだが、何といっているのか傍聴席までは聞きとれない指をさし、机をたたき、体を通路に乗り出してヤジる議員も現れ、さては自、社ヤジの応酬さえもおこり始めた。今や衆議院の議場は昂奮と騒音の渦巻く中で騒然となってしまった。

三木政調会長は終始反対討論を利用して選挙公約的演説を続け、玉なす汗を払きながら、自民党の拍手に迎えられて降壇した。その頃憲知官房長官が楽のふくさに包まれた解散の詔書をもって議長席のうしろから入場し、事務総長に手渡した。事務総長はこれを受けとった益谷議長は初めて朗読する解散の詔書をふるえる手でしっかりと握りしめ、感激の声をはりあげて「憲法第七条により衆議院を解散する」と読みあげた。遂に運命の鐘は鳴り響いた。四百数十名の議員は全員起立して、一斉に「バンザイ」を叫んだが、その感慨はどんなであったろうか。

時に六時九分。斯くて衆議院は解散せられたのであるが、戦い済んで夕闇が迫り、いつもなら各党長時間の乾杯を続けられるのであるが、今度ばかりは左にあらず、一刻も早く白亜の殿堂をあとにして、それぞれ選挙区へと飛んだことであろう。

嵐のあとの静けさが広い議事堂内を刻々と覆って行く。

中間報告する阿具根社労委員長